

東京 23 区における都市空間変化のホットスポットとコールドスポットの抽出と地図化

Detection and mapping of hot/cold spots of urban spatial change in Tokyo 23 wards

若林 芳樹^{1*}, 小泉 諒¹

WAKABAYASHI, Yoshiki^{1*}, Ryo Koizumi¹

¹ 首都大学東京

¹Tokyo Metropolitan University

バブル経済が崩壊した 1990 年代以降, 東京圏では政府の規制緩和政策によって市街地再開発が進行し, 不動産市場の活性化と人口の都心回帰が顕著になっている。こうした動きは東京圏で均等にみられるわけではなく, むしろ空間分化を促進するような変化をもたらした。平山 (2005, 2006, 2011) は, 住宅供給と再開発を促進する政策によって, 新たに投資が行われて再開発されたホットスポットと, 開発から取り残されて人口が減少したコールドスポットへと都市空間が二極分化したことを指摘している。本研究は, これらの分布について, GIS を用いた空間分析によって特定し地図化することを試みた。1985 年~2005 年における国勢調査および事業所統計調査に関するメッシュデータにローカルな空間的自己相関分析を適用した結果, 東京 23 区内でホットスポットとコールドスポットが混在し, その分布に変化がみられることが明らかになった。

キーワード: 地理情報システム, メッシュデータ, 空間分析, 地図, 東京

Keywords: geographic information systems, grid square statistics, spatial analysis, map, Tokyo